



平成 30 年 6 月 27 日

各 位

会社名 神戸天然物化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮内仁志
(コード番号 6568 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 先砥庸治
(TEL. 078-993-2203)

新株式発行に関する資金使途変更に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 6 月 27 日開催の取締役会において、平成 30 年 3 月 7 日付「有価証券届出書の訂正届出書」(以下、「本件公募増資等」といいます。)に記載いたしました「新規発行による手取金の使途」(以下、「資金使途」といいます。)について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、新規上場の際、設備投資資金及び借入金の返済資金に充当するために本件公募増資等を実施いたしました。

設備投資計画の実行に際し、関連製品の需要見通し等を勘案した上で既存設備の有効利用等、計画の最適化を検討した結果、本件公募増資等の資金使途につきまして一部変更を行うことといたしました。

2. 変更の内容

本件公募増資等にて記載いたしました資金使途の変更は、以下のとおりであります。

【変更前】※下線部分が変更箇所

(2) 【手取金の使途】

上記の差引手取概算額 2,947,864 千円及び本第三者割当増資の手取概算額上限 729,819 千円を合わせた、手取概算額合計上限 3,677,683 千円については、うち 3,390,000 千円を設備投資資金に充当する予定であり、残額を借入金の返済に充当する予定であります。

設備投資の具体的な使途としましては、出雲第一工場における医薬製造設備の増設等に対し平成 31 年 3 月期に 220,000 千円、平成 32 年 3 月期に 1,000,000 千円、出雲第二工場における機能材料製造設備の増設等に対し平成 31 年 3 月期に 300,000 千円、平成 32 年 3 月期に 70,000 千円、神戸市における機能材料製造のための新工場建設に対し平成 31 年 3 月期に 1,000,000 千円、平成 32 年 3 月期に 800,000 千円を充当する予定であります。

また、過去に実施した、KNC バイオリサーチセンターにおける GMP 培養設備、出雲第一工場にお

ける核酸・ペプチド医薬品製造設備建設等のための金融機関からの借入金の返済資金に、平成 31 年 3 月期に残額を充当する予定です。

なお、具体的な充当期までは、安全性の高い金融資産等で運用していく方針であります。

【変更後】※下線部分に変更箇所

(2) 【手取金の使途】

上記の差引手取概算額 2,947,864 千円及び本第三者割当増資の手取概算額上限 729,819 千円を合わせた、手取概算額合計上限 3,677,683 千円については、うち 3,390,000 千円を設備投資資金に充当する予定であり、残額を借入金の返済に充当する予定であります。

設備投資の具体的な使途としましては、出雲第一工場における医薬製造設備の増設等に対し平成 31 年 3 月期に 220,000 千円、平成 32 年 3 月期に 1,000,000 千円、出雲第二工場における機能材料製造設備の増設等に対し平成 31 年 3 月期に 370,000 千円、神戸市における機能材料製造のための新工場建設に対し平成 32 年 3 月期に 1,000,000 千円、平成 33 年 3 月期に 800,000 千円を充当する予定であります。

また、過去に実施した、KNC バイオリサーチセンターにおける GMP 培養設備、出雲第一工場における核酸・ペプチド医薬品製造設備建設等のための金融機関からの借入金の返済資金に、平成 31 年 3 月期に残額を充当する予定です。

なお、具体的な充当期までは、安全性の高い金融資産等で運用していく方針であります。

3. 今後の見通しと影響

本件資金使途の変更が当社の平成 31 年 3 月期業績に与える影響は軽微であります。

以上